

⑥ 学習指導案作成例

「英語コミュニケーションⅠ」学習指導案

愛知県立〇〇高等学校
教諭 〇〇 〇〇

1 日時・実施場所

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇限 (〇〇 : 〇〇 ~ 〇〇 : 〇〇)
〇—〇教室

2 学 級

〇〇科 第〇学年〇組 (〇名)

3 学級観

学級の特徴とともに、指導により目指す生徒像、期待される変容、目標達成に向けた見通しを記述します。

素直でまじめな生徒が多い。表現活動には活発に取り組むことができるが、語彙や表現が不足しているため、正確に理解することや、即興性のあるやり取りにおいて課題が残る。ワークシートや活動中のフィードバックなどを通して、正確さと論理性を身に付けさせたい。

4 教 材

- (1) 教科書 〇〇〇〇 English Communication I (〇〇社)
単元名 Lesson 4 100 Things to Do to Save the Earth (Part 〇 pp. 〇 ~ 〇)
(2) 補助教材 Logical Writing for Communication (〇〇.Co. Ltd.)

5 単元の目標

「学習指導マネジメントシート」と連動させ、全ての観点を一体的に記載します。

地球温暖化対策に取り組む環境活動家に関する文章を聞いたり読んだりして、概要や要点、詳細を捉えるとともに、その内容や言語材料を活用して自分の考えをまとめ、話したり書いたりして伝え合うことができる。

6 関係する領域別目標 (学年のCAN-DO)

学年のCAN-DOを記載します。
※本単元で扱わない領域は記載する必要はありません。

聞くこと	家庭や学校における身近な話題についての情報や説明を聞き取ったり、相手からの指示を理解したりすることができる。
読むこと	家庭や学校における身近な話題についての情報や説明を読み取ったり、相手からの指示を理解したりすることができる。
話すこと [発表]	日常的な話題や、社会的な話題について、理由や具体例を交えながら、90秒程度で自分の意見を発表できる。
書くこと	家庭や学校生活などの日常生活で聞いたり読んだりしたこと、学んだことや体験したことなどの概要や要点、その話題に関する意見やその理由を50語程度で書くことができる。

7 単元の評価規準 (五つの領域ごとの評価規準の設定)

領域別目標と関連させ、本単元で扱う領域について記入します。

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化に関する文章を聞き取るために必要となる発音や語彙を理解している。 地球温暖化に関する文章を聞き取る技能を身に付けている。 	自分の考えを発表するために、地球温暖化に関する対話文を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えている。	自分の考えを発表するために、地球温暖化に関する対話文を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。

読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読み取るために必要となる語彙や仮定法を理解している。 地球温暖化に関する文章を読み取る技能を身に付けている。 	自分の考えを発表するために、地球温暖化に関する説明文を読んで、概要や要点、詳細を整理して捉えている。	自分の考えを発表するために、地球温暖化に関する説明文を読んで、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。
話すこと [発表]	<ul style="list-style-type: none"> 情報や考えを述べるために必要となる語彙や因果関係を表す表現、文におけるイントネーション等を理解している。 地球温暖化対策への取組についての情報や考えを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。 	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、地球温暖化について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分が考えた地球温暖化対策への取組について理由とともに口頭で発表している。	聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、地球温暖化について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分が考えた地球温暖化対策への取組について理由とともに口頭で発表しようとしている。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 情報や考えを書いて伝えるために必要となる語彙や因果関係を表す表現等を理解している。 地球温暖化対策への取組についての情報や考えを理由とともに書いて伝える技能を身に付けている。 	読み手に自分の考えをよく理解してもらえるように、地球温暖化について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分が考えた地球温暖化対策への取組について理由とともに書いて伝えている。	読み手に自分の考えをよく理解してもらえるように、地球温暖化について聞いたり読んだりしたことを活用しながら、自分が考えた地球温暖化対策への取組について理由とともに書いて伝えようとしている。

8 パフォーマンステスト

○領域

話すこと [発表]

○内容

自分たちができる地球温暖化対策について、自分の考えを理由とともに話して伝える。

○「思考・判断・表現」についての三つの条件

条件1：地球温暖化が引き起こす問題を示している。

条件2：どのような対策を行うかを述べている。

条件3：対策が必要な理由を二つ以上述べている。

○採点の基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> 語彙や表現が適切に使用されている。 聞き手に分かりやすい音声等で話している。 	三つの条件を満たした上で、関連した情報や自分の考えを理由や具体例とともに詳しく述べて伝えている。	三つの条件を満たした上で、関連した情報や自分の考えを理由や具体例とともに詳しく述べて伝えようとしている
b	<ul style="list-style-type: none"> 多少の誤りはあるが、理解に支障のない語彙や表現を使って話して伝えている。 理解に支障のない音声等で話して伝えている。 	三つの条件を満たして話して伝えている。	三つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

「十分満足できる」状況と判断されるもの：a

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの：b

「努力を要する」状況と判断されるもの：c

単元の目標の達成度を測るためのパフォーマンステストを設定します。
※一回のパフォーマンステストで複数の単元を通して設定した目標の達成度を測ることも考えられます。

9 単元の指導計画 ※網掛けは記録に残す評価の場面。

(聞…聞くこと, 読…読むこと, や…話すこと [やり取り], 発…話すこと [発表], 書…書くこと)

時間	ねらい (■), 言語活動等 (丸数字)	内容のまとめ					生徒の活動状況を見届ける観点 (【 】)・方法 (○)
		聞	読	や	発	書	
1	<p>■単元の目標を理解する。</p> <p>■単元内容の背景となる知識を活性化する。</p> <p>①教師による Oral Introduction を聞き, 内容を確認するとともに, ペアで感想を述べ合う。</p> <p>②地球温暖化について知っていることを, クラス全体で共有する。</p> <p>③本文全体を読み, ワークシートの質問に答える。</p> <p>④単元の目標 (今後行うグループ・ワークで話し合った内容を基に, 地球温暖化対策への取組について, 自分の考えを発表すること)を確認する。</p>	○	○		○		<p>【知】適切な語句・表現を使用しているか。</p> <p>【思】概要や要点を適切に捉えているか。</p> <p>【態】積極的に自分の意見を伝えようとしているか。</p> <p>○ワークシート</p> <p>○活動の観察</p>
2 4 (本時2時間目)	<p>■各セッション (§ 1～§ 3)の内容を口頭で要約し, それに対する感想や意見を伝える。</p> <p>①教科書の説明文を読み, 地球温暖化に関する課題やその解決策をメモにまとめる。</p> <p>②読み取った内容に関する感想や自分の考えを, ①のメモを参考にしながらペアで述べ合う。その際, 聞き手は疑問点やさらに聞きたいことなどを質問する。</p> <p>③ペアを変えて, ②の活動を何度も行う。</p>	○	○		○		<p>【知】論理構成上必要な語彙・表現を適切に使用しているか。</p> <p>【思】論理性に注意して相手に伝えているか。</p> <p>【態】会話が継続するよう工夫しているか。</p> <p>○メモの内容</p> <p>○活動の観察</p>
5	<p>■モデルスピーチを聞いて, スピーチの構成, 表現, 音声上の留意点, 発表態度を確認し, スピーチを行う際の参考にする。</p> <p>①A L Tが地球温暖化について考えていることや解決のために行っていることを説明したモデルスピーチを聞いて, 内容をクラスで確認する。</p> <p>②①で聞いたスピーチの音声や発表態度について, クラスで確認する。</p> <p>③スピーチ原稿を読んで, スピーチの構成や使用されている語句・表現を確認する。</p>	○				○	<p>【思】話し手の意図を適切に捉えているか。</p> <p>【態】構成や語句, 表現を自分のスピーチに生かそうとしているか。</p> <p>○活動の観察</p>
6	<p>■課題を説明し, その改善のために自分ができることを, 理由を含めて話して伝える。</p> <p>①地球温暖化の問題を解決するために自分ができる取組について考え, グループで述べ合う。</p> <p>②次の事項を含めたスピーチのアウトラインやメモを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化の問題について自分が取り上げる課題とその理由 改善のために自分ができる取組 <p>③モデルスピーチを再度視聴し, 音声や発表態度などを確認する。</p> <p>④②で作成したアウトラインやメモを活用し, ペアでスピーチを行う。また, 互いのスピーチの改善点を伝え合う。</p> <p>⑤ペアを変えて, ④と同じ活動を行う。</p> <p>⑥目標の達成状況を振り返り, 課題を明確にする。</p>				○	○	<p>【知】適切な語句や表現を使用しているか。</p> <p>【思】論理的な構成になっているか。</p> <p>【態】自分の発表の課題を的確に捉え, 改善策を考えようとしているか。</p> <p>○活動の観察</p> <p>○振り返りシート</p>
7	<p>パフォーマンステスト</p> <p>・自分たちができる地球温暖化対策について, 自分の考えを理由とともに話して伝える。</p>					知 思 態	※採点の基準等は「7 パフォーマンステスト」を参照。
後日	定期考査	知 思	知 思			知 思	

10 本時の目標

環境活動家のスピーチの意図を捉えたり、論理構成や表現、話し方を学習したりすることを通して、因果関係に留意した話し方を身に付けられるようにする。

単元の評価規準を達成するための、その授業における目標を設定します。
1時間に盛り込みすぎず、年間を通してバランスよく設定するようにします。

11 本時の展開（2／7時間）

時間	指導過程	生徒の学習活動	指導上の留意点・支援等
5分	Small Talk (帯活動)	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮していることをペアで1分間伝え合う。 代表生徒がクラスに発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 会話が続きにくい場合は、表現集の活用を促す。 数名の生徒に発表させる。
5分	写真の描写	<ul style="list-style-type: none"> 本レッスンの表紙絵を見て、写っているものをペアで述べ合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 何を描写すればよいか分からない生徒には、What do you think this man is doing? などの質問をしながら注目すべき点を示す。
5分	音読（新出語句）	<ul style="list-style-type: none"> 新出語句を発音しながら、意味と発音を覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音の難しい語句は、音節で区切りながら繰り返し発音するなど、文字を見て発音できるよう指導する。
5分	リスニング	<ul style="list-style-type: none"> 音声を聞きながら、本文に関する質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の概要を問う質問を2問用意する。 質問は事前に示して、聞き取りのポイントを明確にする。
8分	内容把握 (Q&A)	<ul style="list-style-type: none"> 教師の質問に英語で答えながら、本文の要点を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて写真や地図を用いて内容を理解させる。 文法や語句の誤りは、"You mean ~?" などトリキャストして修正を促す。
6分	音読 Repeating Buzz reading Overlapping	<ul style="list-style-type: none"> 内容が相手に伝わるように音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> 意味内容が相手に伝わるよう、強調すべき語句や話す速度・声の大きさなどに注意するよう指導する。
4分	要約	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張や、その理由を表す語句を中心に、キーワードをメモする。 	<ul style="list-style-type: none"> 文ではなく、語句や図でメモをさせる。語句を線で結ぶなど、キーワード同士の関係性も意識させる。
8分	Retelling	<ul style="list-style-type: none"> キーワードを基にペアで本文の内容を口頭で伝え合う。 ペアを替えて数回行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 根拠や主張を表す表現を使うように指導する。
4分	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 相手に伝わりやすい話し方について分かったことと、今後の課題をワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的で実現可能な内容を記入できるようにアドバイスをする。

12 御高評